

講義科目名称： 哲学

授業コード： 2210100300

英文科目名称： Philosophy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎稻葉景			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】 【氏名】 ◎稻葉 景 【研究室】 清泉女学院大学</p> <p>【本学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【D P 1】 ◎ 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】</p>
------	--

到達目標	毎回提示されるテーマについて、哲学者の思想を学ぶ。また、グループで議論しながら、自分の考えを自分のことばで伝えること、様々な考え方があること知ができるようになる。																
授業概要	哲学とは何か、現代までの哲学者が残した思想の営みが現代に生きる我われにどのような哲学的思考の示唆を与えてくれるかを考えていく。古代から現代までの哲学者の思想が、それぞれどのように結び合わされているかを理解すること、日常の「当たり前」を改めて哲学的に思考することで論理的思考を会得することを目指す。																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：人間が「考える」ということ 学習内容：そもそも「哲学」とは何かを考える 備考：</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：世界はどこからできているのか 学習内容：フォアゾンクラティカの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：哲学とは 学習内容：ソクラテスの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：本質はどこに？ 学習内容：プラトンとアリストテレスの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：悪と罪とは 学習内容：アウグスティヌスの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：善惡とは 学習内容：トマス・アクィナスの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：私とは 学習内容：デカルトの思想を学ぶ 備考：</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>授業内容 授業形態：対面 学習課題：時間とは</td> </tr> </table>	1	授業内容 授業形態：対面 学習課題：人間が「考える」ということ 学習内容：そもそも「哲学」とは何かを考える 備考：	2	授業内容 授業形態：対面 学習課題：世界はどこからできているのか 学習内容：フォアゾンクラティカの思想を学ぶ 備考：	3	授業内容 授業形態：対面 学習課題：哲学とは 学習内容：ソクラテスの思想を学ぶ 備考：	4	授業内容 授業形態：対面 学習課題：本質はどこに？ 学習内容：プラトンとアリストテレスの思想を学ぶ 備考：	5	授業内容 授業形態：対面 学習課題：悪と罪とは 学習内容：アウグスティヌスの思想を学ぶ 備考：	6	授業内容 授業形態：対面 学習課題：善惡とは 学習内容：トマス・アクィナスの思想を学ぶ 備考：	7	授業内容 授業形態：対面 学習課題：私とは 学習内容：デカルトの思想を学ぶ 備考：	8	授業内容 授業形態：対面 学習課題：時間とは
1	授業内容 授業形態：対面 学習課題：人間が「考える」ということ 学習内容：そもそも「哲学」とは何かを考える 備考：																
2	授業内容 授業形態：対面 学習課題：世界はどこからできているのか 学習内容：フォアゾンクラティカの思想を学ぶ 備考：																
3	授業内容 授業形態：対面 学習課題：哲学とは 学習内容：ソクラテスの思想を学ぶ 備考：																
4	授業内容 授業形態：対面 学習課題：本質はどこに？ 学習内容：プラトンとアリストテレスの思想を学ぶ 備考：																
5	授業内容 授業形態：対面 学習課題：悪と罪とは 学習内容：アウグスティヌスの思想を学ぶ 備考：																
6	授業内容 授業形態：対面 学習課題：善惡とは 学習内容：トマス・アクィナスの思想を学ぶ 備考：																
7	授業内容 授業形態：対面 学習課題：私とは 学習内容：デカルトの思想を学ぶ 備考：																
8	授業内容 授業形態：対面 学習課題：時間とは																

	<p>学習内容：マルティン・ハイデガーの思想を学ぶ 備考：</p> <p>9 授業内容 授業形態：対面 学習課題：死とは 学習内容：ウラジミール・ジャンケレビッヒの思想を学ぶ 備考：</p> <p>10 授業内容 授業形態：対面 学習課題：幸福とは 学習内容：ラッセルの思想を学ぶ 備考：</p> <p>11 授業内容 授業形態：対面 学習課題：普通とは 学習内容：ミシェル・フーコーの思想を学ぶ 備考：</p> <p>12 授業内容 授業形態：対面 学習課題：いのちは① 学習内容：生命倫理（出生前診断）を学び、GWでいのちの意味を考える 備考</p> <p>13 授業内容 授業形態：対面 学習課題：いのちは② 学習内容：生命倫理（臓器移植）を学び、GWでいのちの意味を考える 備考</p> <p>14 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自己の生きかたとは 学習内容：オルテガ・イ・ガセットの思想を学ぶ 備考：</p> <p>15 授業内容 授業形態：対面 学習課題：まとめ 学習内容：哲学の学びから何を得るのかを今までの学びからまとめる 備考：</p>
事前・事後学習	事前に授業内容にかかわる課題を行ない、テーマについて事前学習を行う。事後は、毎回授業で学んだ内容についてまとめ、次回の授業までに疑問をまとめ、リアクションペーパーを書いて、教員に提出する。また、教員より提示された参考文献や映像等を確認することで更なる学習を求める。
評価方法、評価基準	毎回の授業への積極的な参加度・リアクションペーパー45%、レポート55%、遅刻は減点の対象とする。 ※毎回のリアクションペーパーはきちんと授業内容を把握したうえで、自分の意見や疑問点など書いているかどうかで評価する（3段階評価）。レポートは授業内で配布する「レポートの書きかた」に基づいて、授業を理解した上で、適切なテーマを選んでいるか（5%）、自分の意見だけではなく、きちんと客観的な資料を使って調べているか（5%）、記述の展開が論理的で一貫性があるか（30%）自分なりの意見が書かれているか（10%）、正しい日本語文法で書かれ、文体の統一（だ・である調）がされているか（5%）で評価する。
必携図書	なし
参考図書・資料等	齋藤哲也『哲学史入門Ⅰ～Ⅲ』、田中正人『哲学用語図鑑』等、適宜テーマに関する参考文献を紹介し、必要に応じて資料としてプリントを配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業に集中するため、スマートフォン・ネット使用の禁止、課題の提出期限を厳守すること。始業時間から20分以上遅れた場合を遅刻とし、遅刻2回で1回の欠席とみなす。レポートの提出期限は、遅れた場合、原則受け取らない。
教員からのメッセージ	哲学で大切なことは「ふと立ち止まって考える」ことです。哲学はつねに「正解（真理）」を求めますが、その答えはひとつではないと思います。一つのテーマに対して様々な意見があることを経験するために、授業の中では哲学的対話を含めたグループワークも行いたいと思います。一人ひとりがテーマについて自分の頭で考え、わからないことを質問したり、自分の意見を発言したりすることが求められますので、積極的に参加してください。どうぞよろしくお願ひいたします。
オフィスアワー	—